

# 入善町 議会だより

## No. 6

発行 者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行 入善町議会議長 長島啓太郎  
編集 入善町議会だより編集委員会  
印刷 池原印刷所



明るく伸び伸びと授業する統合西中学校の生徒たち

(議会常任委員会行政視察より)

### 議会日誌

- ▼ 4月 22日 議員全員協議会
- 第13回入善町議会臨時会
- 26日 下新川郡町議会議長会総会(於朝日町)
- ▼ 5月 28日 議会だより編集委員会
- 9日 富山県東部議会議長協議会総会(於朝日町)
- 12日 新議員研修会(於市町村会館三階ホール)
- 14日 高知県吉川郡伊野町議会議員視察来町
- 26日 富山県町村議会議員研修会(於市町村会館ホール)
- 30日 愛知県丹羽郡扶桑町議会議員視察来町
- ▼ 6月 2日 新川広域圏臨時議会(於魚津市役所)
- 4日 議会運営委員会
- 5日 富山県町村議会議長会理事会(於県町村会館)
- 12日 産業建設委員協議会(町内行政視察)
- 13日 総務委員協議会(町内行政視察)
- 16日 文教厚生委員協議会(町内行政視察)
- 20日 総務委員会(付託案件審査)
- 21日 議会運営委員会
- 自 24日 第十四回入善町議会定例会
- 至 26日 会

●定例議会の経過と会議の内容は次のおりてあります。

第一日 六月二十四日(火)

午後一時十分本会議を開会し議事に先立ち第十三回臨時議会以降における、議会に関する事項について議長から諸般の報告がありました。

このあと会議録署名議員に二番岩場俊議員、三番真岩幸作議員を指名、この定例会の会期は六月二十四日から二十六日までの三日間と決定されました。

次いで報告案件一件が上程されました。次に承認案件一件を上程原案通り承認されました。

# 六月定例議会

つづいて去る四月二十二日総務委員会に付託、閉会中の委員会審査となっていた陳情第四号の審査報告を総務委員長より報告がなされ、採決の結果委員会審査報告の通り継続審査することに決定いたしました。

次に議案第三十八号から議案第五十号までの十三件を一括して議題とし、上程案件に対する提案理由の説明を町長からなされました。続いて請願五件、陳情二件が上程され紹介議員より提案理由の説明がなされ専門的な審査をするため、これを所管の常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とすることに決しました。

次いで町政一般に対する質問に

入り、通告のあった七人の議員から町政に対する質疑応答がかわされ、午後五時十九分散会しました。

第二日 六月二十六日(木)

午後一時十二分本会議を開き、第一目目に上程されました議案第三十八号から議案第五十号の十三件に対する質疑討論が交され、採決の結果原案の通り可決されました。

次に選挙第三号が上程され黒東合口用水組合議会議員(十五名)が、議長の指名により選挙されました。

次いで議員提出議案第一号入善町農業委員会委員推薦については

原案通り可決と決しました。

最後に議員提出議案第二号昭和五十年産米価と農業の基本政策確立に関する意見書案が上程され、万場一致をもって可決、議会の決議を関係機関に働きかけその目的達成のため努力することになり、午後一時三十九分第十四回入善町議会定例会を閉会いたしました。



傍聴者(石妻学級)

# 町政一般質問



福沢議員

## 統合東中学校の建設見通しをしめせ

① 統合西中学校の開校により、他中学校との格差ができており住民の関心が高まってきた。統合東中学校の建設の見通しはどうなのか、又舟見中学校の現状からして生徒数の削減に伴う教員数の問題が重視され、これが教育レベルの低下にも及ぼす影響は大きい、これ等の問題をどうするのか町長の所信を問う。

② 国の総需要抑制等によりモデル事業費が大きく削減されたが住民の関心は道路舗装に向けられている。又西中学校通学路の舗装、改良整備も要望されているが本年度の実地計画を聞きたい。

③ 生活改善推進運動について町行政自から模範をしめすべきで卒先して行事の直会等やめよう

か、交通安全運動にも関連するので町長の所信を問う。

町長 ① この種の問題は総合計画、学校統合審議会等の答申の尊重に経済情勢、地方財政等により

ます現状の把握、もってまいります。舟見中学の生徒数の減少により教育効果が低下するのではないかと心配されますが、幸い県教委の指導により教員数の確保はしておりこれからも引き続き現状維持に努力する、教課外の教員の張りつけにも措置をとってまいります。

② 抑制により財源に苦慮している、この種の事業は非常に要望の高いものであり、国の予算も大中に伸びたが指定される市町村も大巾に増えましたので薄い配分になった。しかし入善町は全国一の補助率であり一番高い補助額をとってきているのでモデル事業の達成のため努力している。通学路については、県道、スーパー農道等関連道路に結ぶ計画を進めていきたい。

③ 物を大切に、不要物を買わない運動は勿論、行政面に強く指導して行く、町の行事等については極簡素に行っていきたい。



金田議員

## スクールゾーンの再点検をせよ

① 最近産業開発、宅地造成、企業誘致等により豊かな緑の地が次第に減少しつつある、これがため、自然保護及び緑化運動に一般の指導をすると共に企業、工場に緑化を義務づける条例を制定する考えはないか。

② 一日と交通が激しく交通規制は無視され、危険性は充分予想されるので、今一度スクールゾーンの再点検と規制区間を新設する考えはないか。

③ 閉校になった富山県入善高等技能学校の跡地をどうするのか、

又県と何等かの利用について話し合  
をしたのか、あれば、その見通し  
を聞きたい。

町長 ① わが町は公園都市を宣  
言しており緑の町として永久に残  
して行きたい。立地法に基づき緑  
化を規制しており企業、工場は、  
るかに基準を越えて緑化されてお  
ります。今後誘致します工場には  
緑化も条件の一つとするので条例  
で規制する考えはない。

② スクールゾーンの規制におい  
て児童生徒を交通から守っている  
が婦人会並びに交通安全協会等と  
密接な連絡をとりながら交通安全  
対策を強化したい。又交通教育指  
導にも力をいれたい。特に西中学  
校周辺、関連道路は整備されつつ  
あり、スクールゾーンや規制の申  
請等については県公安委員会に相  
談していきたい。

③ 跡地について県と相談してい  
る、入善の希望に最善の努力をす  
るが国の補助に於いての建物なの  
で多少の制限がありますが、入善  
町に役立つものであれば使用して  
もよいといっている。利用につい  
ては議会とも相談していきたい。



五十里 議員

### 幼児、児童の道徳教育 の促進をはかれ

① 入善町に約八〇〇余名の心身  
障害者の方がおられます。障害者  
の皆さんはそれぞれの悩みと苦し  
みに耐えておられます。これらの  
方々に心の支えとなる町の対策を  
たてるべきだと思いが町長の考え  
を聞きたい。

② 幼児、児童の道徳教育を高め  
たい。将来の青少年育成にもつな  
がるのでその対策について町長の  
考えを聞く。

③ 農村総合モデル事業は農民が  
一番期待している。当初より相当  
の減額を見てたが追加予算等獲得  
に一層の努力を期待するが町長の  
見通しを聞く。

町長 ① 心身障害にも色々ござ  
いますが、悩み、それを克服しての  
生涯の頑張りが、本心に心からお慰  
め申し上げたい。医療費、障害福祉  
年金、その他器具とかを支給してお  
りますがそれぞれ障害者の皆さん  
に精神的な福祉のため心の慰にお  
役にたつよう努力したい。尚、慰  
安会等のご意見もありました。各  
それぞれのお考えも御持ちの方  
々です。皆さんとご相談申し上げ  
ていきたい。

② 現在、道徳教育は大きくクロ  
ーズアップされており、中国では  
徳育、知育、体育、の教育をほど  
こし道徳教育は正課に組んでいる。

保育所においても道徳育成を強め  
特にお年寄りを大事にする事も必  
要であるが子供は親を見習うこと  
を忘れないでほしい。

③ 四十九年度が二十二億、五十  
年度は四十五億で前年対比一九八  
%であります。事業数で一六六  
%が配分を受けるため予算の落込み  
を見るわけでこのあと約一、五〇  
〇万円の獲得に努力したい。



嶋田 議員

### 財源確保の積極的な 姿勢をしめせ

今、米価決定期をひかえ、六〇  
キロ当り、一万九千七百九拾四円  
の要求に対し、政府は米価を一〇  
%上げると、二千億円の支出増と  
なり、この穴うめに消費者米価を  
一三・三%上げねばならないと説  
明し、国民生活安定の上から好ま  
しくない等等で、米価引き上げを最  
小限にとどめる説得をはじめてい  
るやに見受けられる。

ようやく食糧増産に意欲を示し  
つつある今日、農民に失望を与え  
ていると本員は思う。町長はこの  
点どの様にお考えか、おたづねし  
ます。

国保税の引き上げが提案されて

おりますが、国からの国保事務費  
の交付金が、本来、全額国庫支出  
金であるところ、現実には全額に  
はるかに及ばない低額交付金であ  
ることが是正されない限り、解消  
されないと指摘されております。

又、大蔵省は、今後予想される  
歳入の欠陥を補うため国債の発行  
や、酒、たばこ等の増税を数多く  
用意しているが、超過負担の軽減  
全廃を訴えております自治体に対  
し、国が今後どの様な手だてをす  
るのか、我々の要求を声を大に、  
叫び続ける努力をしなければなら  
ないが、町長がどのような姿勢で  
のぞまれるか、おたづねします。

又当然国が負担すべき経費を自治  
体に負担させ、県が市町村で負担  
を転嫁するケースを排除すると共  
に、地方交付税の大幅増額等をど  
のように進め、今後の町税、各財  
源の歳入の見通しについて承りた  
い。尚、財政硬直を打開するため、  
熱海市では、別荘の富裕税、広島  
では、公害対策費の自動車に対す  
る目的税、三浦市は、ヨット税の  
賦課を検討しているが、入善町に  
おいても、財源確保のため積極的  
な姿勢をうちだすべきだと思いが  
町長の所信を聞く。

町長 まず米価要求については、  
春斗において決りましたが公務員給  
与の引き上げが一四%にとどまっ  
た時点において三七・六%の要求  
は非常に、至難な問題だと思つ。し  
かし、ここで、米価が決りますか、  
総理の決断がどう出て来ますか、

又総選挙の動きもあり、私はいわ  
ゆる政治的な要素で米価決定がな  
されるものと思つ。

入善町のような米どころでは百  
円でも五〇円でも高い方がよい。  
この意味でこの運動に加わって  
きたい。

又、国がやるべき仕事を地方自  
治体に押しつけていることは事実  
であり、高福祉、高負担が自治体  
の姿である。断固、国へ要請すべ  
きである。

次に、富裕税、又は目的税を検  
討している自治体があるが、入善  
町には対象となるべきものも無く  
現段階では無理だと思つ。

次に、歳入の見通しを申し上げます  
と、昨年は、約八千五百万円の自  
然増、公務員、民間給与引き上げ  
で、七千八百万円の伸びと固定資  
産税の七百万円の伸びを見た。国  
税三税の伸びも大きく、地方公付  
税にゆとりがあったが、四十九年  
の不景気が五十年に響き、一年の  
事でうって変わった事態となり、国  
も歳入欠陥となり、町も歳入欠陥  
をよきなくされると思つ。

町税で六億三千五百万円が当初  
で議決しておりますが、これだけ  
は確保できると思つ。但し、中味  
に於ては、住民税で二千万円落ち  
込みますが、固定資産税では二千  
万円の増収を見られると思つ。

又地方交付税五千万円の減額は  
よきなくされると見込んで、当初  
予算に繰越は、三千六百万円、積  
立金の取り入れぐちとして、六千  
九百万円の繰入を見込んでおり、

合計一億五千万円となります。  
 ここから五千万円の交付税の減額をしても、五千五百万円残りです。人勤予想であと七%、約四千万円になり、あと一千五百万円残る訳であり、このあと起債の獲得、自治体へ臨時特別対策としての財源も期待出来る。

町単独での目的税的なのものが今後検討され、これで行こうと云うものが出て参りますれば、相談していきなさい。



小林 議員

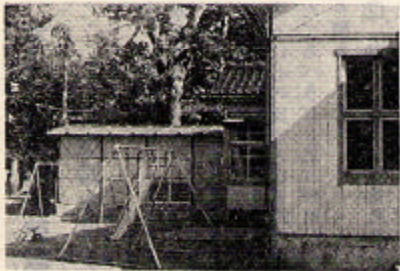
### 保育児の対策と 保育所の改善をはかれ

① 社会的な危険から幼児を守るということ、情操教育をほどこすということとは保育において欠かせない大切な問題だと思ふ。先般の行政視察で保育所の定員オーバーが特に目についたが、この点どのように考えておられるか又、身体に障害のある乳幼児の保育についてのお考えをお聞きしたい。

② ハツカオリやホウネン早生は消費者にあまりよろこばれないというのを聞いております。ハツカオリについてこれは収量性に於いて是非伸ばさなくてはならない

と考えておりましたけれども現実面に於いてそのような事があるならば、今一度考えを新たにしなければならぬと考える。行政の指導と農協の指導とが食い違っているということは現実で、ハツカオリ等は作らせないという農協の指導であるように聞いております。特に入善町の米作りが将来特産となるには、ハツカオリやホウネン早生を止めてコシヒカリやコシジ早生を一本化するというのが方針を樹てるといふのが問題でなからうかと思ふがこの点明解なご答弁を願ひます。

町長 ① 確かに保育所は満員であり保育には苦慮している。財源のゆるすかぎり何んとか応急措置をしたい。又調理室や便所等の改善もして行きたい。ただし野中保育所だけは是非建てたい。障害児



増築がのぞまれる保育所

の入所については保母や保護者ともよく相談をして、送り迎えの出来るものならば考えてみたい。

② 農協は売りさばきをする関係上、ハツカオリは歓迎しないのだと思ふ。しかしハツカオリは県の準奨励品種になっている。特別銘柄はホウネン早生だと農林省が発表しております。富山県の指定、銘柄はコシジ早生、ニホンバレ、コシヒカリとなっております。コシヒカリは銘柄として好評であります。反当差があつても等級差その他を含めると結果的にどちらにも変らなくなるだらうと思ふ。町でも一層おいしい米づくりを指導し、農協と連絡をとりながら作付けをして参りたい。



上島 議員

### 中学校の格差を 是正せよ

① 本日は、西中学校を視察してその素晴らしさ、又、特別教室のいたれりつくせりの施設、教具に驚いたのであります。ここで、新しい学校、古い学校と当然でてくるのは格差の問題であります。中学校は義務教育であり、しかも生徒は学校の選択が許されないのであ

ります。本日は、この差を一日も早く縮めなければならぬし、一刻も早く解決するよう努力すべきだと思ふ。入善町総合計画、五十二年度までの実施計画の中には、東中学校建設計画が見あたらないのが残念に思ふ。又舟見中学校の存廃と、東中学校建設は不可分であります。結論的にいいますと、舟見中学校は適正規模を欠いていると町長が認めておられるなら、宇奈月町の生徒が舟見中学校から、宇奈月中学校に転校した現在、今までの事態も大きく変つてきた事は事実であり、町民がこの動きを見ておりますので、明解なる町長のお考えを聞きたい。

② 保育所に関する請願、陳情は多く議会に提出されますが、ただ一点気にかかるとは、野中保育所の建設であります。今、県から国へ建設補助申請の出ている保育所の数は一二件で、その中で国が認めるのが一〇件だと町長が云われるが、野中保育所の申請がもし該当からまれた場合、大変なことになると思います。予算が計上され、建設がお流れになると、つきつきと悪循環をきたすのであります。町長の一層の努力と手腕を期待し要望します。

町長 ① 西、東中学校同時建設の構想もあつたし、又、文部省へも参つた事も事実です。しかし、西中学校のみにとどまつたが間違つてはいなかつた。当時、まともになかつたのは、用地の問題であ

り、現在も大きな問題であり、悪く言えば障害にもなっている。理想的な中学校を建設するには現在の財政から、四、五年後になると思ふ。舟見中学校については、私はやはりいろいろな意見があるのは当然だと思ふし、又、東中学校完成の時点において、舟見中学校の統合は常識的にその運びとなるらう。

② 野中保育所改築については、国も県もどのような判断をするのか気にかかるが、町が改築する以上、県も当然尊重してくれると思ふし、何としてでも改築したい。国、県に充分お願いしてあり、改築の方針は変らない。



岩場 議員

### 需用費の 切り詰めを行え

① 我が町は、四十八年の景気にささえられ、四十九年度の税の自然増は、八千五百万円であり、健全財政に於いて喜ばしいことである。しかしながら、五十年度はきりぬけたとしても、五十一年度はさらにきびしさが予想されるのであります。町職員給与が国家公務員の給与と比較してどうな



のか、明らかにしてもらいたい。  
 ② コンピューターの導入によって行政事務の合理化は出来ないか。今後予想されます福祉の充実に伴って増加する行政事情の先取り行政を図る考えはないか。  
 ③ すでに予算化された経費の根本的な洗い直しをする必要はないか。例えば需用費をきりつめる余地はないか。  
 以上町自体でとりうる財政上の諸点について質問したが地方交付税の三十二％を四十％、或は、四十五％に引き上げさせる努力を今まで以上に努力されることを要望します。

町長 ① 職員の給与は国家公務員に近づいており、決して低いものではありません。今後職員の採用はしない方針であり、職員も一層努力してくれるものと信じている。  
 ② コンピューター導入による事務能力の活用について充分考えている。又予想される業務の見直しと職員管理の充実をはかりたい。  
 ③ 需用費の執行については充分チェックを行っている。又予算組において最低に切りつめており、それなりの効果をあげるよう指導している。  
 ④ 交付税の率は当然低いので引き上げるよう、国に訴え超過負担の解消に努力したい。

### 昭和50年産米価と農業の基本政策確立に関する意見書

一昨年以來のインフレと不況は、農業経営と農民の暮らしを一層苦しくしている。斯様な事態を放置すれば、米作の将来が一層不安定なものとなり、国民の主食供給が重大な局面を招くことは避けられない。  
 国際的にも食糧需給の逼迫を契機として、日本農業の見直しの気運が高まってきたが、このままでは農業の衰退が一層激しくなることは明らかである。

よって政府におかれては、今後経済安定成長政策をすすめるに当たっては、これまでの発想を根本的に切り替え、この際、農業を産業としての基本的な位置づけをはかり、農業者が希望をもって専念



できる農業に進展させるよう、下記事項重点施策を入善町議会の決議により、つよく要請する  
 記

1. 昭和50年度生産者米価は、生産費を償う適正価格に上げるとともに、食管制度を堅持し、米の買入れ制限を撤廃すること。
  2. 米の子約売制度は、これを継続すること。
  3. 農業を国民食糧の安定的供給産業としての基本的な位置づけを確立すること。
  4. 従来からの経済路線の見直しをし、農業経済改革の野換をはかり、農業基盤と農村環境の整備の積極的推進。
  5. 魅力をもたらす農業の中核的担い手の育成対策を強力に推進すること。
  6. 農畜産物の価格安定及び需給調整機構の確立による需給の安定と流通の近代化を図ること。
- 上、地方自治法第99条第2項の規定にもとづいて意見書を提出します。

昭和50年6月26日

入善町議会

入善町税条例及び国民健康保険条例の一部改正など十三議案を可決

- ・ 議案第三十八号入善町税条例の一部改正について  
 法人の町民税法人税割の税率を現行百分の十二・一から百分の十四・五に引上げ昭和五十年七月一日以降終了する事業年度分の法人の町民税から適用
- ・ 議案第三十九号入善町国民健康保険条例の一部改正について  
 地方税法施行会の一部改正に基づく関係規定の整備及び医療費等の増高にかんがみ現行より平均十八・二％増税となる見込
- ・ 議案第四十号入善町国民健康保険条例の一部改正について  
 国保の被保険者が出産した場合助産費を現行「二万円」から「四万円」に引上げる
- ・ 議案第四十一号入善町簡易水道

給水条例の一部改正について  
 簡易水道の使用料を維持管理費の増大に伴う「基本料金超過料金」の改正

- ・ 議案第四十二号入善町都市公園条例の一部改正について  
 農村総合整備モデル事業で完成した「小摺戸公園」下山公園を都市公園条例に租入れる

### 六月定例議会に上程された議案

- ・ 議案第四十三号新川広域農事組合規約の変更について  
 新川広域農事組合の事務所所在地を変更するもの、「魚津市釈迦堂一丁目十番一号」とする
- ・ 議案第四十四号町の境界変更について  
 本町野中地区と朝日町との境界を変更
- ・ 議案第四十五号宇の区域の変更

（青崎地区）

議案第四十五号宇の区域の変更について（青崎地区）

議案第四十六号宇の区域の変更について（横山工区・舟川工区）

議案第四十七号宇の区域の変更調書の一部訂正について（入善土地改良区）

以上の三件については園場整備

事業に伴う宇の区域の変更

議案第四十八号工事請負契約について（入善町環境改善センター新築工事）

契約金額 金七一八〇万円

契約の相手方 広川建設工業株式会社

代表 森田建設

議案第四十九号工事請負契約について（入善漁港海岸保全施設整備工事）

契約金額 金一八五〇万円

契約の相手方 森田建設

代表 森田伊作

議案第四十八号及び議案第五十号の工事請負契約の工期は何れも昭和五十年十二月十日

1. 第一工区

契約金額 金二四三三〇万円

契約の相手方 本田建設KK

代表 池原建設

2. 第二工区

契約金額 金一五七八万円

契約の相手方 池原建設

代表 池原久作

3. 第三工区

契約金額 金二二八九万円

契約の相手方 寺林建設

代表 寺林武雄

4. 第四工区

契約金額 金二一三〇万円

契約の相手方 水原組

代表 水原広次

議案第五十号工事請負契約について（上原地区道路整備工事）

契約金額 金一八五〇万円

契約の相手方 森田建設

代表 森田伊作

- ◆その他の案件
  - ・報告第二号寄附採納について
    - 寄附件数 二十八件
    - 寄附物品現金換算として 金二二万八二四〇円
  - ・承認第五号専決事項承認について
    - (入善町公害防止条例一部を改正する条例)
  - ◆議会提出の案件
    - ・選挙第三号黒東合口用水組合議会議員の選挙について
      - 当選者次のとおり
      - 上田義信氏(入善) 五十里茂吉氏(入善)
      - 松原庄二氏(道市) 金沢登明氏(上野)
      - 熊原竹松氏(本根) 広田久吉氏(東狐)
      - 森田清作氏(福島) 鶴岡芳一氏(下山)
      - 中山喜一氏(菓ノ木) 寺崎信義氏(新屋)
      - 長島啓太郎氏(町山) 前田勇作氏(小杉)
      - 金沢幸一氏(古黒部) 大柴利雄氏(舟屋)
      - 高田三二氏(今江)
    - ・議員提出議案第一号入善町農業委員会委員推薦について
      - 入善町農業委員会委員として次の五名を推薦しました。
      - 吉原信行氏(森原) 金田利一氏(上野)
      - 伊多定二氏(下坂野) 小森盛義氏(愛場)
      - 金森清作氏(中沢)
    - ・議員提出議案第二号昭和五十年産米価と農業の基本政策確立に関する意見書
  - ◆請願 陳情
    - ・陳情第四号旧県入善土木事務所庁舎を入善町に払下げ町内第十二区公民館として使用旋方陳情 (採決の結果 継続審査)
    - ・請願第十号育苗センター、もみ

共同乾燥施設に通ずる道路舗装  
方清願(上野地区)

・請願第十一号町道本根二号線(本根神社・本根海岸)舗装について請願

・請願第十二号西部保育所通園道路舗装について請願

・請願第十三号神子沢部落備付小型消防ポンプ更新について請願

### 第十三回入善町議会臨時会

(昭和五十年四月二十二日)

西中学校体育館新築工事  
工事請負契約など議決

(町長提案)

・承認第二号専決事項承認について  
専決処分第一号損害賠償の額の決定について

(損害賠償の額)  
二百七十八万五千五百八十八円

(損害賠償の相手方)  
入善町上野 川原孝子

・承認第三号専決事項承認について  
専決処分第二号昭和四十九年度入善町一般会計補正予算(第五号)

一千五百九十一万九千円を追加し、予算総額二十五億二千一百八十八万円とする。

・専決処分第三号昭和四十九年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第五号)

三百六十七万一千円を追加し、予算総額五億二千七百八十二万三千円とする

・請願第十四号舟見保育所増築に関する請願

・陳情第五号し尿取の適正料金について陳情

・陳情第六号流雪溝の設置について陳情(青木町組)

(以上の請願五件陳情二件については常任委員会付託閉会中の審査を求めることになりました)

・専決処分第四号昭和四十九年度入善町土地取得特別会計補正予算(第三号)

款項の区分補正(予算額に変更なし)

・承認第四号専決事項承認について  
専決処分第五号入善町税条例の一部を改正する条例

税法改正に伴う町条例の改正  
議案第三十六号老人憩の家条例の一部改正について

五月一日より次のように使用料を改める

1. 入所料(一人一日につき)  
老人一〇〇円、小学生以下の者五〇円、その他の者二〇〇円

2. 個室使用料(一回につき)  
八畳八〇〇円、六畳六〇〇円、四・五畳五〇〇円

・議案第三十七号工事請負契約について(入善町立入善西中学校体育館新築工事)

1 建築主体工事

### 目●耳●声

婦人に参政権が与えられ、婦人の地位が認められ、政治への関心が深まる。こうした世代に生きる私達にとつてまだまだ勉強しなくてはならない点がたくさんあります。若妻会で定例議事を傍聴する機会を得ました。きれいで、ゆたかで、生きがいのある町。公害のない町づくりをモットーに町長はじめ、議員のときばきした質問、答弁を聞き町政の動きを知る事が出来ました。立派な西中学校の開校に対して、東中学校、舟見中学校の問題、スクールゾーンや保育所の問題等は、私達若い親の立場としても興味深い問題でした。高度成長とともにいろいろな施設が出来、農地改革もなされました。こうした中で私達はまだまだ生活の向上を夢みます。これからも町の発展のために、私達が選んだ議

契約金額  
二億二千六百四十万円

契約の相手方 熊谷組

2 電気設備工事  
契約金額一千六十五万円

契約の相手方北陸電気工事版

3 工期  
昭和五十年十月三十日

(陳情)  
・陳情第四号旧入善土木事務所庁舎を入善町に払下げ町内第十二区公民館として使用旋方陳情(常任委員会付託閉会中の審査を求めることになりました)

貝さんの努力を期待します。  
東狐 名取川松子

若妻学級で議会の傍聴に出席しました。先づ町長さんの提案説明次には議員さんのいろいろな陳述、意見その中でやはり先に来るのは予算の事、真実な顔、顔、顔。質問に対し一言／＼自信をもって答えられる町長、町政を任せている私達にとつて心強く感じました。傍聴席から見ている私達には議場のふんい気は何か固苦しく思えた。私達はただばく然と傍聴しているだけで手許には何の資料もなく物足りなさも感じました。町を住み良くするために、何をやらうとされても先づ予算、頭の痛いところかと思えます。  
水野貞子

### 編後記



梅雨もあけ、いよいよ暑さがきびしくなつてまいります。健康にくれぐれも御留意下さい。  
本号は六月定例会を中心に四月臨時会のあらしも合せて掲載しました。

このたび若妻学級の皆さんから議会傍聴のご感想等お寄せいただき有難うございました。これからもどしどし御意見、御希望をお寄せ下さい。次号は九月定例会を中心にお届けする予定です。